



子どもたちの笑顔と元気を大切に

● 国の動き（地域クラブ認定要件・家庭の費用負担について）

6月に「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進等に関する調査研究協力者会議」が立ち上げられ、標記の2点について審議が重ねられています。下記の資料は9/26現在、スポーツ庁より公表されている資料です。（QRコード参照）



【認定制度の概要】



【費用負担の在り方について】



● 市の動き（第5回塩尻市中学校部活動地域移行等協議会 開催）



9/19（金）に標記の会を開催し、国・県の動きや**塩尻市の種目ごとの進捗状況について**報告しました。

（詳細は下記 QR コードより HP 参照）引き続き種目別検討会などで検討を重ね、令和8年度末までに休日の地域展開ができるように準備を進めていきます。

【地域クラブ活動のネーミング投票について】

塩尻市の地域クラブ活動を身近に感じてもらうために、児童・生徒による投票でネーミングを決めます。10月から11月にかけて投票を受け付け、最も得票数が多かった名称案を次回の協議会に諮り、正式決定する予定です。【裏面参照】

■【コーディネーターのつぶやき ⑨】

・8月31日 スポーツ庁・文化庁より令和8年度の概算要求・要望額が提出されました。また、地域クラブ活動の要件と家庭の費用負担目安についての見解が示されました。これまで国の検討会議を視聴してきましたが、委員からの所得格差や地域格差（人口、経済力、交通インフラ等）に関する意見を聞きながら、平等な支援とはどうあるべきか、一律的な基準を設定することは本当に難しいと感じました。将来的には、地域クラブが自走できる環境にすることが求められますが、この事業は莫大な費用がかかることが明白であり、それ故に公的支援が必要です。今回の概算要求・要望額がそれに見合うものか見定めるとともに、今後の県の支援策を注視していきます。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp

いっぴよう き
あなたの1票で決まります！！

ちいき かつどう ぬいしょうあん
しおじり地域クラブ活動の名称案

① しおじりユナイト ・「ユナイト」は「結束（けっそく）する」の意味（いみ）。 ・学校（がっこう）家庭（かてい）地域（ちいき）指導者（しどうしゃ）が一緒（いっしょ）になって活動（かつどう）をささえていくという願（ねが）いをこめました。	② ネクストしおじり ・「ネクスト」には「つぎのステージへ」や「新（あたらしい）時代（じだい）の活動（かつどう）」という願（ねが）いをこめました。	③ クラカツ！しおじり ・「クラカツ」は「クラブ活動（かつどう）」の略（りゃく）。 ・シンプルで分（わ）かりやすく広（ひろ）く伝（つた）わるようにという願（ねが）いをこめました。
④ Shiojiring しおじりんぐ ・「しおじり」と「リング（わ）」をかけあわせた造語（そうご）。 ・大（おお）きな輪（わ）のように活動（かつどう）がつながって広（ひろ）がっていくよう願（ねが）いをこめました。 ・ing（イング）＝英語（えいご）で「～している」という意味（いみ）も含（ふく）まれています。	⑤ しおクラ ・「しおじり地域（ちいき）クラブ」の略語（りゃくご）。 ・大人気（だいにんき）ゲーム「マイクラフト」の略語（りゃくご）「マイクラ」にしているため、覚（おぼ）えてもらいやすいと考（かんが）えました。	⑥ しおカツ ・「塩尻市（しおじりし）」の「塩（しお）」と「活動（かつどう）」の「活（かつ）」をかけあわせた造語（そうご）。 ・短（みじか）くて覚（おぼ）えやすいと考（かんが）えました。
⑦ えんりんぐ ・「塩尻市（しおじりし）」の「塩（えん）」と「リング（わ）」をかけあわせた造語（そうご）。 ・人（ひと）の縁（えん）が大（おお）きな輪（わ）のようにつながって、広（ひろ）がっていくよう願（ねが）いをこめました。	⑧ えんクラ ・「塩尻市（しおじりし）」の「塩（えん）」と「クラブ」をかけあわせた造語（そうご）。 ・「えんばーく」「えんてらす」などにも使（つか）われている「えん（塩・円・縁）」をいれました。	⑨ えんカツ ・「塩尻市（しおじりし）」の「塩（えん）」と「活動（かつどう）」の「活（かつ）」をかけあわせた造語（そうご）。 ・「えんばーく」「えんてらす」などにも使（つか）われている「えん（塩・円・縁）」をいれました。

みぎ きゅうあーる つか とうひょう

右のQRコードを使って投票してね





子どもたちの笑顔と元気を大切に

- 長野県から配られたリーフレットの内容に合わせて、市の現状をお知らせします。
このリーフレットは、部活動の地域クラブ活動への移行推進に関する広報資料で、県内全小学校（5，6年生保護者対象）と全中学校（全学年保護者対象）に配布されています。

（Q1）市内中学校の部活動における課題は？



- A. 10年前に比べ生徒数が300人以上減少。野球部やサッカー部は1校だけではチームが組めず、隣の学校と合同チームで活動しています。
また、顧問の負担が大きく、部活動が終わった後に授業準備などをし、夜遅くに帰宅する先生もたくさんいます。



（Q2）地域クラブ活動の目指すところは？

- A. 小中学生を対象に行ったアンケートでは、今の部活動にとっても満足している、やりたい競技がなく部活動に入っていない、試合で勝つために部活動には入らず地域のクラブで活動しているなど、様々な回答が寄せられています。塩尻市は、「多彩な暮らし、叶えるまち」を目標にしていますので、現在の部活動や地域のクラブ活動を、今よりもっと子どもたちの想いに寄り添った形に発展させることを目指しています。

（Q3）市の方針（移行時期や平日の活動）は？



- A. 塩尻市も、県の方針に従い、令和8年度末までに休日の部活動を地域のクラブ活動として実施できるよう検討を進めています。
また、休日と平日で指導者が違うと子どもたちが混乱するといった課題もあることから、できるだけ休日と平日の活動をセットで考えていきます。

（Q4）地域や保護者にできることは？



- A. 塩尻市では、できるだけ多くのみなさまと共に地域移行を進めていきたいと考えております。広報誌やホームページで取組状況をご覧いただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

今後の予定

1. 市内中学校が行う「令和7年度中学校入学予定者説明会」等で、取組状況を説明します。
2. 令和7年2月に第4回中学校部活動地域移行等協議会を開催し、目指す姿を話し合います。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp

子どもたちの笑顔と元気を大切に



塩尻市教育委員会

● 国の動き（春の公表に向けて）

2月、第5回「スポーツクラブ」「文化芸術活動」のワーキンググループが開催されました。地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備については、責任所在の在り方について。指導者の質の保障・量の確保に関しては、教職員の兼職兼業や指導資格、部活動指導員の業務範囲等について議論されました。また、大会やコンクールの運営に関わり、大会参加規定（自治体認定と中体連認定のギャップ）についても話題になっていました。

今月（3月）スポーツクラブ・文化芸術活動ともに最終のワーキンググループが開催されます。

● 市の動き

☆第4回部活動地域移行等協議会

2月14日（金）塩尻市中学校部活動地域移行等協議会を開催しました。国・県・市の方向性を確認したのち、地域クラブや指導者の要件について協議しました。



☆種目別地域移行検討会



1月～2月にかけて2回目の種目別地域移行検討会を実施しました。今回は、国・県・市の方向性を踏まえ、R8年度までに休日の地域移行を完了させるための具体的な方法等について検討しました。新年度に入り、第3回目の種目別検討会議を開催し、より具体的な内容を検討していきます。

※詳しくはホームページ（下記QRコード）よりご確認ください。

■【コーディネーターのつぶやき ⑧】

・今年度、種目別検討会を立ち上げました。当然のことながら、その種目に特化した話をするので、会を重ねるごとに具体的な話し合いになってきています。その一方で、地域移行（地域展開）の意義等について話し合う時間があまりないと感じています。例えば、これまでの「地域移行」と「地域展開」は何がどう違うのか？この取り組みによって、塩尻市にどのような変化が生まれるのか？etc

スポーツ庁の室伏長官は「スポーツを学校から解放し、新たな価値を創出する」という言葉を使います。新たな価値って何でしょう？例えばレクリエーション的な活動もあれば競技志向の強い活動もあり。練習って毎日必要？1つの種目だけでなく幅広く体験する（マルチスポーツ）も大事では？サッカー選手が陸上を教えたっていいよね。中学生同志だけでなく、地域の方々や幅広い世代と活動できるといいね。など、あらゆる機会を創出してスポーツや文化芸術活動の在り方を考える機会にしようという発信をしています。目先の課題解決も必要ですが、いろいろな機会が生まれることによって、市民の幸福度もさらに高まるのではないかと思います。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp

子どもたちの笑顔と元気を大切に



塩尻市教育委員会

● 今後の改革の方向性について

国の検討会議において中間とりまとめが示されました。【一部抜粋】



1 改革の理念及び基本的な考え方等

○民間クラブとの区別や質の担保の観点から、**地域クラブ活動の定義・要件や認定主体、認定方法を国として示す。**

○名称について、地域クラブ活動の在り方等をよりの確に表すため、**「地域移行」→「地域展開」**に変更する。



2 今後の改革の方向性：

- ・休日については、**次期改革期間内に原則全ての部活動において地域展開の達成を目指す。**
- ・平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地域の実情に応じた取り組みを進める。

○次期改革期間：

・**前期（令和8年～10年度）→（中間報告）→後期（令和11～13年度）**

※10年度までに休日移行完了。13年度までに平日移行完了。

○費用負担の在り方：

- ・**受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討する。**
- ・ふるさと納税、クラウドファンディング等の寄付の活用等新たな財源の確保を組み合わせていくことが重要。

● 今後の予定（塩尻市）

- ・2月14日（金）塩尻市中学校部活動地域移行等協議会を開催します。

国の方向性を確認し、7年度以降の本市の在り方について協議します。

【コーディネーターのつぶやき ⑦】

・昨年行われた4年に一度の祭典オリンピック。塩尻市は、出口クリスタ選手の金メダルで大いに沸きました。広丘で行われた祝賀パレードを見に行きましたが、明るく元気なクリスタ選手が、地域に元気と活力を運んでくれたことを実感しました。その快挙をお祝いしつつ、もう一人注目している選手がいました。パラリンピックでブラインドサッカーに出場した平林太一選手です。小学生時代、彼は盲学校に通いながら出身地の小学校と交流していましたが、当時私はその小学校に勤務していました。とても明るい性格で、誰とでも気さくに話をする太一君。サッカーにおけるアグレッシブなドリブルは、当時から健在でした。残念ながら、今回は悔しい思いをしたと思いますが、これから一層の成長が期待されます。二人の選手を通して、明るく前向きに頑張れることがあるって本当に素晴らしいと感じました。今の子どもたちにもそうあって欲しいと願う姿です。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係 長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電 話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp

子どもたちの笑顔と元気を大切に



● 新たな国の動き

- 8/8 (木) 文部科学大臣より「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」を設置し、来春までに26年度(令和8年度)以降の方向性をまとめるとの会見がありました。
- 8/23 に第1回実行会議があり、8/30 よりワーキンググループによる検討会が始まりました。

- 【検討事項】 ① 地域クラブ活動への移行に係る課題の整理・解決策について
② 令和8年度以降の地域クラブ活動への支援方策等について
③ ガイドラインの見直しの論点整理について

【塩尻市】

● 部活動地域移行等協議会

8月21日(水) 第3回塩尻市中学校部活動地域移行等協議会を開催しました。今回は、塩尻市としての「新たな地域クラブ」の要件や指導者の資質・資格取得を検討する前段階として、意見交換を行いました。



● 種目別地域移行検討会の進捗状況 (8/29 現在)



- ① 実施済 ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール、陸上、サッカー
② 今後の予定 9月3日(火) 吹奏楽
※上記以外の種目については現在調整中です。

● 実証事業の予定 【申し込みは以前配布したチラシでご確認ください。】

- ・9月 8日(日) アーバンスポーツ体験会(17:00~19:00 市立体育館) アーバンスポーツ信州
- ・9月21日(土) ふらっとフットサル大会(15:00~17:00 小坂田公園) フォルスビススポーツクラブ

【コーディネーターのつぶやき ⑥】

・地域移行という言葉が子どもたちはどう捉えているのでしょうか？小学生は、放課後や休日に自由に遊ぶ子もいれば塾に行く子もいる。スポーツ系・文化系・芸術系など習い事に出かけている子もいる。まさに地域に委ねられていると言えます。では、なぜ中学校では「地域移行」という表現になるのか？それは、これまですべて学校に委ねられてきた領域であり、職員が^{きようじ}_{きようじ} 矜持とかやりがいを持って当たってきたことを検討しようとしているからで、時代の流れにより生まれた大人側の言葉だと感じます。ですから、子どもたちにとって「移行」という言葉は、あまりピンとこないかもしれません。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp

子どもたちの笑顔と元気を大切に



塩尻市教育委員会

● 塩尻市部活動地域移行計画 決定

- ・ 6 月、塩尻市部活動地域移行計画が策定されました。この計画は、国・県の指針を受け 令和 8 年度末までに休日の部活動を地域移行することを目指すための計画となっています。（地域移行計画）（部活動の方針）

尚、県の指針・ガイドラインに変更、追記等があった場合には、その方針に沿って変更することになります。～塩尻市の地域移行計画と部活動の方針については QR コードからご覧ください～



● 種目別検討会はじまる



- ・ 地域移行計画に基づき、種目別検討会を始めています。これまで地域移行に関する大枠のところを検討してきましたが、いよいよ具体的な検討に入る段階にきています。構成メンバーは、各校の顧問の先生方をはじめ、協会関係者、スポーツ・文化芸術団体の指導者、外部指導者など直接的に関わっていらっしゃる方々です。すでに開催した種目もありますが、本年度中に全種目の検討を開始します。

● 今後の予定

- ・ 6 月 2 5 日（火）種目別検討会（ソフトテニス）済
- ・ 7 月 2 0 日（土）ふらっとフットサル大会（15:00～17:00 小坂田公園ミニサッカー場）
- ・ 7 月 2 6 日（金）種目別検討会（バレーボール）
- ・ 7 月 3 1 日（水）種目別検討会（バスケットボール）
- ・ 8 月 2 日（金）種目別検討会（陸 上）
- ・ 8 月 2 1 日（水）第 3 回塩尻市部活動地域移行等協議会
- ・ ※ 8 月以降のアーバンスポーツ体験会（裏面参照）

【コーディネーターのつぶやき ⑤】

- ・ 最近、部活動の地域移行について趣旨や方向性を理解していただくことの難しさを感じています。機会ある毎に説明をさせていただくものの、なかなか難しいなと感じているのが率直な感想です。県は 7 月下旬以降、県民の理解を得るための方策として、リーフレットの配布を予定していますが、どのくらい理解していただけるか？子どもたちや保護者、先生方に理解していただかなければ成立しない地域移行です。特に、小学校高学年の子どもたちは、移行推進期間の当事者になりますので、具体的な説明が必要だと認識しています。機をとらえて伝えていきたいと考えています。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係 長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電 話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp



子どもたちの笑顔と元気を大切に

● 中学校体育大会（夏季大会）

・今年も暑い夏がやってきました。3年間、部活動で頑張ってきた3年生にとって、今までの成果を発揮する一番の大会。どの会場も熱戦が繰り広げられていました。合同チームで大会に臨んでいたサッカーでは、連携した動きでボールを繋ぎ、相手ゴールに向かうチームプレーを見ることができました。また、応援する生徒も2校の校名を入れて大きな声で盛り上げていました。また、他郡市からの参加チームも含め、合同チームや外部指導者が増えてきたことを実感する大会となりました。ただし、大会の運営については、中学校の先生方の献身的な力に支えられている点は以前と変わっていません。これから地域移行を考えるにあたり、大会のあり方も大きな話題になってくると思われます。



● 新たなスポーツの体験機会の創出（実証事業）



・児童生徒の多様なニーズに応え、多種目・多年代で気軽に楽しめる活動機会を確保しながら、新たな地域クラブ活動を構築することを目指しています。（フォルスピススポーツクラブ、アーバンスポーツ信州、SFIDA 塩尻スポーツクラブ）左の写真は、アーバンスポーツの剣玉（ケンダマ）、スラックライン、パルクールを体験している風景です。基本的なことを丁寧に教えてもらい、練習を重ねていきました。全員が上達していく過程が見ていて分かりました。これからが楽しみです。

● 令和9年度以降の全国中学校体育大会

・6月8日、日本中学校体育連盟が令和9年度より9競技の全国大会を取りやめると発表しましたが、反響が大きく混乱を招いています。中学校における部活動の設置割合で判断していいのか？代替措置を含めた発表はできなかったのか？関係者の気持ちを察すると複雑なものがあります。一方、大会を残すことになった11競技の扱いも気になるところです。大会のあり方はどうなるのか？部活動を残すのか？今後の動向から目が離せません。

【コーディネーターのつぶやき ④】

・4月から5月にかけて各中学校で開催されたスポーツ・文化活動運営委員会にお伺いし、休日の地域移行に向けた話をさせていただきました。席上、様々な質問・意見をいただきましたが、具体的かつ明快な返答ができないもどかしさを感じました。これまでのアンケートや調査を通し、課題はかなり明確になっていますが、それをクリアするための資金や受け皿が不透明であることが歯がゆさに繋がっています。秋口までに種目別検討会を開催し今後の方向性について話し合うこととなりますが、その種目に直接関わっている方々ですので、より具体的な道筋が見えてくることを期待しています。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係 長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電 話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp



子どもたちの笑顔と元気を大切に

●第2回塩尻市中学校部活動地域移行等協議会

- ・令和6年2月22日（木）に、第2回協議会を開催しました。
- ・協議会では「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針（案）」「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン（案）」についての情報共有と、塩尻市の「部活動の方針（案）」「部活動地域移行計画（案）」について協議しました。詳細は市ホームページをご覧ください。

(URL:<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/39/35241.html>)



●部活動はなくなるの？



中学校の部活動運営委員会（スポーツ・文化活動運営委員会）にお伺いし、話をさせていただく機会がありました。席上「部活動は無くなるという理解でよいのか？」という質問がありました。県は以下のように公表しています。

- 1 原則として、休日・平日ともに、全ての学校部活動を新たな地域クラブ活動に移行する。
- 2 まずは、休日の学校部活動について、令和8年度末を目途に、新たな地域クラブ活動に移行する。
- 3 平日はできるところから移行を進め、平日の移行が難しい場合でも、生徒の活動を保障しつつ、日課の調整等により教員の時間外の部活動指導を減らす工夫を検討・実施する。
- 4 令和7年度までの移行状況を調査・検証し、改めて平日の移行について方針を示す。

全国中学校体育連盟は、令和8年度まで全国大会を予定しています。（それ以降は未定）したがって、今すぐに部活動が無くなるわけではありません。令和6年度、単独チームが成立しない部は、合同部活動の形で練習や大会に臨みます。指導者は、顧問の先生、部活動指導員、外部指導者の方々となります。

●今後の予定

- ・今年3月を目途に県の指針・ガイドラインが決定される予定です。その内容を受け、塩尻市の「部活動の方針」ならびに「部活動地域移行計画」を修正し、市民の皆様方にパブリックコメントを実施したのち、6月頃最終決定する予定です。

■【コーディネーターのつぶやき ②】

昨年からの県のスポーツ・文化芸術活動連絡協議会を傍聴してきました。委員から、地域移行の課題や困難点がたくさん出されますが、多くは本市にも当てはまるものです。一方で、先進的に進めている自治体に足を運びヒアリングを行ってきましたが、自治体によって実情が異なるため、課題は同じでも、進め方や手立てはまちまちでした。このことから、本市も、本市なりの地域移行のあり方を考えていく必要があります。この紙面をご覧になっている皆様方、この課題は多くの方々の力を必要としています。いつでも、お気軽に、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 教育総務課学校支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp



子どもたちの笑顔と元気を大切に

第1回「塩尻市中学校部活動地域移行等協議会」を開催しました

- ・令和5年9月20日（水）に、第1回協議会を開催しました。
- ・協議会では、国及び長野県の動向や塩尻市の取組状況等について情報を共有したのち、意見交換を行いました。
- ・委員より、長野県の方針が決まっていない段階で協議するのは時期尚早ではないかとの意見もあり、塩尻市が目指す姿などの決定は第2回協議会へ持ち越しとなりました。



【市教育委員会が実施したアンケートの結果】（第1回協議会資料から抜粋）

小学生（3年～6年 回答者数2,017名）

①放課後や休日に習い事をしていますか？

- ・している 69.7%（水泳、ピアノ、英語、サッカー等）
- ・していない 30.3%

②中学生になったら部活動をやりたいですか？

- ・やりたい 89.2%（バドミントン、科学、バスケット等）
- ・やりたくない 10.8%



中学生（1年～3年 回答者数1,362名）

①部活動に入っていますか？

- ・入っている 73.6%
- ・入っていない 26.4%

②（①で入っていないと答えた生徒に）入っていない理由は何ですか？

- ・他にやっていることがある 50.8%
（サッカークラブチーム、硬式野球、柔道など）
- ・学校にやりたい活動がない 25.3%



顧問の教員（回答者数62名）

①どんな思いで顧問をしていますか？

- ・部活動の指導が好き 40.3%
- ・生徒のため仕事だと思ってやっている 43.5%
- ・やりたくないが仕方なくやっている 11.3%
- ・その他 4.9%



保護者（回答者数1,904名）

①部活動の地域移行について懸念していることはありますか？（複数選択）

- ・保護者の送迎 64.2%
- ・活動場所までの移動 56.2%
- ・活動費用の負担 44.4%
- ・指導者の教える態度 29.2%
- ・子どもがやりたい活動があるか 29.1%



コーディネーターのつぶやき①

その昔、日曜日の部活動はありませんでした。1992年第2土曜日が休日に、2002年に完全週休二日制になりました。この10年ほどの間に休日の部活動が熱気を帯びてきました。エネルギーを持って余す生徒がいて、いわゆる「荒れた中学校」が社会問題となった時には、健全な学校にするための一つの柱として位置づけられた時もありました。かくいう私も生徒たちの生き生きとした表情や、ひたむきに頑張る姿から、部活動の顧問としてやりがいを感じていた記憶が蘇ります。

部活動は長きに渡って続いてきた日本ならではの文化なので、このあり方を変えることは簡単なことではありませんが、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わったことを実感しています。検討していかなければいけないことが山積していますが、今を生きる子どもたち、これからを生きる子どもたちが、笑顔で活動できる持続可能な環境を作ることは、大きな命題だと感じています。

（お知らせ）広報しおじり11月号に部活動地域移行の特集記事が掲載されました。ぜひご一読ください。



子どもたちの笑顔と元気を大切に



塩尻市教育委員会

はじめに



文部科学省が示した「地域での新たなスポーツ・文化芸術環境の構築（R2/9）に基づき、動き出した部活動の地域移行。（R4/6）にスポーツ庁の提言が、（R4/8）に文化庁の提言が出されました。これを受け、塩尻市では令和4年度より検討を始めましたが、この「部活動改革」を実現させるためには、**国・自治体・学校・保護者・地域・競技団体等すべての関係者の『意識改革』**が求められています。

国の方針では、令和5年度～7年度を改革推進期間とし、地域移行が可能な部から休日の地域移行を進めていくとしています。長野県は課題が多いことから、令和5年6月長野県地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会において「休日の学校部活動について令和8年度を目途に地域クラブに移行する」という独自の方針が示されました。

意識改革とは

部活動

教育活動としての部活動から
楽しむ活動への転換

地域スポーツクラブ

地域文化芸術活動

「部活動を移行する」ではなく
「子どもたちのスポーツ・文化活動の環境を整備していく」
意識が大切です。



～塩尻市の取り組みについて～



- これまで関係機関への説明や協力依頼、中学校長会との情報共有、種目代表者との意見交換、コーディネーター配置、児童生徒・保護者、部活動顧問へのアンケートなどを通し、塩尻市における部活動の実態や課題の洗い出しを行ってきましたが、持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境を整備していくことが、自ら考え、判断し、主体的に活動する子どもたちの姿に繋がると考えています。
- 9月に県のガイドラインが示されますが、本市では **塩尻市中学校部活動地域移行等協議会** を9月20日（水）に立ち上げます。
- その後、協議会のみなさまからの意見をはじめ、保護者向け説明会や部活動運営委員会等からの意見を踏まえ、2月を目途に市のガイドラインを策定します。

※今後、国・県の動向、塩尻市の地域移行に関する情報や取り組みの様子などについて本紙面やホームページなどを通してお知らせしていきます。

次号では、第1回地域移行等協議会の様子を中心にお伝えします。

※地域移行についてお尋ねしたいことがある場合は、担当までご相談ください。

担当：塩尻市教育委員会事務局 教育総務課学校支援係 小松 義宏
部活動総括コーディネーター 中沢 寛
内線：3113 e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp